

薬連ハイライム

連盟機関誌「POWER!」とは

日本薬剤師連盟では、会員に対し連盟活動等を伝える媒体として「日薬連盟だより」という機関誌を作成し会員に配付してきている。平成24年10月号から主題名を「POWER!」と改め、「日薬連盟だより」を副題名とした。若手会員を意識しての改名であり、よりわかりやすい紙面を目指すこととなった。

連盟機関誌が定期発行となった平成20年1月号を第1号とし、直近発行の平成29年7月号が第52号となっている。「POWER!」となった第27号から現在までの間、号外が2回発行されている。

「POWER!」の記事内容は、広報委員会において決定される。最近数年間の記事を見てみると、評議員会、全国フォーラム、薬剤師首長・地方議員意見交換会等の連盟が開催する大きな会合やイベントの紹介、都道府県薬剤師連盟等が開催する若手フォーラムの紹介、都道府県会長の写真付き一言、全国支部長の写真つき紹介、薬剤師議員の選挙結果等である。本年3月以降は、3月22日の定時評議員会において組織内統一候補者として決定された本田あきこ日薬連盟副会長の活

動記事をメインとしている。

一方、連載記事も多くみられ、会員読者が一言物申す「マイオピニオン」、組織代表である藤井基之参議院議員が国会等の活動状況を報告する「もとゆきレポート」、連盟活動において知っておくべき事柄を解説する「豆知識」、連盟のマスコットであるファーマくんが、連盟会長、日薬副会長、薬剤師議員、日本女性薬剤師連盟会長、日本病院薬剤師連盟会長等を訪問し、ご家族のこと、故郷自慢、趣味等のプライベートなことや、思い出に残る仕事、これから最も力を入れて取り組みたいこと等についてインタビューする「ファーマくんがゆく」等がシリーズ化している。

これからも会員にとって有益、かつ、楽しい記事を届けられるよう努力することとしている。



日本薬剤師連盟HPよりご覧戴けます。(http://yakuren.jp/power)

と き り

未来投資戦略2017

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

安倍首相は8月3日、内閣改造と自民党役員人事を行い、麻生財務大臣、菅官房長官をはじめ5閣僚が留任、加藤1億総活躍担当大臣が厚労大臣に転任、文部科学大臣に林芳正氏、防衛大臣には小野寺五典氏を再起用し、第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。

さて、「骨太の方針2017」と同時に閣議決定された「未来投資戦略2017」は、日本経済再生本部の下、将来の成長分野への投資を官民連携して大胆に進めるとともに、未来への投資拡大に向けた成長戦略と構造改革の加速化を図るための司令塔として、昨年9月に新たに設けた「未来投資会議」での検討内容を取りまとめたものです。

「未来投資戦略2017」では、IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)、ロボット等の第4次産業革命のイノベーションを、あらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する「Society5.0」を実現することが、生産性の伸び悩みや新たな需要創出の欠如といった長期停滞を打破し、中長

期的な成長を実現する鍵になるとしています。

そして、その戦略分野の一つに健康寿命の延伸を掲げ、健康・医療・介護データを個人個人が生涯にわたって一元的に把握できる仕組みの構築。保険者に対する予防インセンティブの強化。かかりつけ医等による対面診療と組み合わせた効果的・効率的な遠隔診療の実施。AI開発の重点として、画像診断支援、医薬品開発、手術支援、ゲノム医療、診断・治療支援、介護・認知症の6分野を定め、開発・実用化を促進。自立支援等の効果が科学的に裏付けられた介護の実現、介護におけるロボット・センサーの活用。などの具体的な取り組みを進めることにより、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年には、技術革新を最大限に活用した最適な健康管理と診療、自立支援に軸足を置いた介護など、新しい健康・医療・介護システムが確立し、世界に先駆けた生涯現役社会を目指すとしています。

藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp